

- ③ 各学問領域に関する演習や実践的な実習により、専門教育科目の理解を深め実践力の育成を図る。
- ④ 3・4年次の演習と卒業論文の作成によって学修の総仕上げを行う。
- ⑤ 冬季野外活動を通じて自然と人間の共栄を考えるとともに、安全にスノースポーツを行うための様々な知識やスキルを身につけるための「野外活動実習Ⅰ」がある。また、「野外活動実習Ⅱ」により、スノースポーツの指導法を理解する。
- ⑥ 教員免許取得を目指す学生は「教育実習」がある。

【関連科目】

「人間開発」への取組みをより幅広く豊かなものにするための多様な科目を配置している。

【カリキュラムの構成と履修方法】

健康体育学科専門教育科目の構成とその履修方法は、次のとおり。

科目区分		卒業要件
学部コア科目		3科目 6単位 必修
基幹科目		5科目 10単位 必修 3科目 6単位 選択必修
展開科目	I類	2科目 4単位 選択必修
	II類	2科目 4単位 選択必修
	III類	2科目 4単位 選択必修
	IV類	2科目 4単位 選択必修
	V類	
演習・実習科目		3科目 8単位 必修 5科目 7単位 選択必修
関連科目		
合計		74単位以上

※1 卒業するためには、専門教育科目から74単位以上を修得しなければならない。なお、教育実習に関する科目は、要卒単位に含まれない。

※2 開講科目及び卒業要件の詳細は、P29・30のカリキュラム表を参照のこと。

※3 卒業論文の詳細は、P35・36を参照のこと。

※4 教育実習は選択制。2年次の履修登録時に、履修登録を行うこと。

※5 教職・資格課程の詳細は、第5章「教職課程」・第6章「資格課程」をそれぞれ参照のこと。

※6 基幹科目「特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会」は、小・中学校教員免許状取得希望者に必須である「介護等体験」に参加するための前提となる科目である。

※7 「運動方法基礎実習」の開講種目は『WEB時間割』を参照のこと。

【スポーツリーダー／ジュニアスポーツ指導員／アシスタントマネジャー

／健康運動指導士／トレーニング指導者（JATI-ATI）】（健康体育学科のみ対象）

人間開発学部健康体育学科では、指定された科目の単位を修得することにより、①公益財団法人日本スポーツ協会から公認スポーツ指導者養成講習会の免除適応コースの承認を受けた「スポーツリーダー（スポーツ指導基礎資格）」の資格、②同「ジュニアスポーツ指導員」認定試験受験資格、③同「アシスタントマネジャー」認定試験受験資格、④同「水泳コーチ1」、⑤公益財団法人健康・体力づくり事業財団による「健康運動指導士」認定試験受験資格、⑥特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会による「トレーニング指導者（JATI-ATI）」認定試験受験資格を取得することができる。なお、各資格の指定科目は、別途ガイドダンス等で告知する。

① スポーツリーダー（スポーツ指導基礎資格）【公益財団法人日本スポーツ協会公認】

公認スポーツ指導者には、スポーツ医・科学の知識を活かしてスポーツを「安全に、正しく、楽しく」指導し、その本質的な楽しさや素晴らしさを伝えていくことが期待されている。スポーツ指導基礎資格としてのスポーツリーダーは、地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる人材として位置づけられている。さらに、スポーツリーダーの資格取得後、